

# ASIAN WOMEN'S FUND NEWS

URL <http://www.awf.or.jp/> e-mail [info@awf.or.jp](mailto:info@awf.or.jp)

2002.10.20

No.20

## 募金への御礼

### アジア女性基金の償い事業に協力して下さったみなさまへ

財団法人女性のためのアジア平和国民基金(略称アジア女性基金)は、発足以来7年になります。

このたび、フィリピン、韓国、台湾における償い事業の実施が終了いたしました。「慰安婦」とされた方々にお届けする「償い金」のための募金に協力いただいたみなさまに感謝し、厚く御礼申し上げます。

「慰安婦」は、先の大戦の時期に、当時、旧日本軍の関与のもとに設置された慰安所で将兵に対し性的行為を強いたられた女性たちです。慰安所において、多くの女性が名誉と尊厳を深く傷つけられ、心身にわたり癒しがたい傷を負われました。

1993年8月4日、内閣官房長官談話によって日本政府がお詫びと反省を表明して以来、政府と国民は償いを行う道を模索してまいりました。

1995年7月19日、道義的な責任を痛感した政府の決定により、政府と国民が協力して国民的な償い事業等を行う「女性のためのアジア平和国民基金」が発足いたしました。

アジア女性基金は政府の決定を得て、国民的な償い事業の内容を、国民の募金を原資とする「償い金」と政府拠出金を原資とする医療・福祉支援を、総理大臣のお詫びの手紙とともに、元「慰安婦」一人ひとりにお届けすることと定め、国民のみなさまに対して募金活動の呼びかけを開始しました。そして、96年8月13日よりフィリピンにおいて、97年1月11日より韓国において、また同年5月2日よ

り台湾において、国民的な償い事業を開始しました。事業期間は、高齢になられた方々に対し、一刻も早く事業を実施したいとの強い思いから、5年間と定め、2001年8月にはフィリピン、2002年5月には、韓国、台湾で申請の受付を終了し、このたびこれらの国・地域における償い事業の実施を終えました。

これらの国・地域で、285人の方々に償い事業をお届けいたしました。償い事業を受け取られた方々からは、「このような総理のお詫びやお金が出るとは思いませんでした。日本のみなさまの気持ちであることもよくわかりました。」など多くの声が寄せられています。

発足時より今日まで国民のみなさまからいただいた募金の総額は、5億6500万円余に達し、これは全額フィリピン、韓国、台湾の元「慰安婦」の方々のもとへお届けいたしました。ここに国民のみなさまに対して、心より感謝を申し上げます。このように、政府と国民が協力して、これらの国・地域で国民的な償いの事業を実施できたこと、そしてアジア女性基金が事業を担うことができたことを嬉しく思います。

しかし、これらの国・地域では、アジア女性基金の償い事業に対して、日本政府が法的責任を認めて国家による個人補償をすべきだとする立場から、この償い事業を批判する元「慰安婦」の方々や支援団体もおられます。アジア女性基金としては、これらの方々の理解を得るために真摯に対話を努力を試みました。

なお、オランダの元「慰安婦」の方々に対

しては、98年から2001年にかけて、政府拠出金を原資とする医療・福祉支援事業をおこない、オランダ事業実施委員会を通じて79人の方々にお届けいたしました。その際、一人ひとりの元「慰安婦」にコック首相あての橋本総理大臣のお詫びの手紙の写しが添えられました。また、インドネシアにおいては、アジア女性基金がインドネシア政府との覚書に基づき、97年3月から10年間を目処に、同政府が実施する高齢者社会福祉推進事業を支援することになり、現在実施中です。

アジア女性基金は、償いの事業を進めることと併行して、女性をめぐる今日的な問題の解決のための事業を推進してきました。それは、「慰安婦」という忌むべき制度を生み出した過去の日本に対する厳しい反省に基づくものです。また、「慰安婦」問題を歴史の教訓として、この問題の認識の発展に努めてまいりました。歴史資料の収集、調査、分析も、それに基づく啓発活動も、この問題を永く国民の記憶にとどめ、同じ過ちを決して繰り返さないという決意に基づくものです。これらの事業はアジア女性基金の重要な活動であり、今後とも取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き、国民のみなさまからの暖かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

2002年10月

財団法人女性のためのアジア平和国民基金

理事長 村山 富市

## 募金へのご協力ありがとうございました。

これまで、国民のみなさま方、各界各層から寄せられました募金のすべては、  
285名の元「慰安婦」とされた方々へ  
お届けいたしました。  
ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。



### 「償い金」に係る募金活動 についてのお知らせ

元「慰安婦」とされた方々への「償い金」の原資としておりました募金の活動を終了させていただきます。  
ご協力に感謝申し上げます。

### 募金の収支状況

2002.9.30現在

募金収入総額 565,005,636 円  
(預金利息を含む)

#### [ 支出内訳 ]

償 い 金	570,000,000 円
外 為 差 損 等	80,416 円
募金支出総額	570,080,416 円
募 金 不 足 額	△5,074,780 円

〔注〕募金の不足額は、基本財産の一部をあてます。

### 「償い事業」報告会のお知らせ

アジア女性基金の償い事業について報告会を開催します。ご協力いただいたみなさまに、各国、地域の事業について、元「慰安婦」の方々がどのように償いの気持ちを受けとめてくださったかなどご報告したいと思います。お近くの会場にぜひおこしくださいますようお願い申し上げます。

10月 9日(水)	13:00~15:00 高槻現代劇場(高槻市) 18:00~20:30 PLP会館(大阪市)
10月23日(水)	17:30~19:00 文翔館(山形市)
10月28日(月)	18:00~20:30 大分県労働福祉会館ホール(大分市)
11月29日(金)	18:00~20:30 東京ウィメンズプラザ(東京・表参道)
12月 5日(木)	14:30~17:00 県民文化会館(鳥取市)

償い事業を  
お届けして

## 日本のみなさまのお気持ちがわかりました。

アジア女性基金は、かつて「慰安婦」とされた方々に、国民からの拠金に基づく「償い金」と政府資金による「医療・福祉支援」を、内閣総理大臣の「お詫びの手紙」とともにお届けしてまいりました。「償い事業」を受け取られた方々のご様子や、日本の国民のみなさまへ寄せられた声の一部をご紹介します。

### 暮らしやすく家を改築しました

Mさんは、現在72歳。14歳のとき「慰安婦」にさせられました。結婚はしなかったので、姪の家族と同居しています。Mさんは、女性基金の事業を受け取り、家の屋根裏を改造して自分の部屋を造りました。70歳をこえてはじめて自分の居場所が出来たのがうれしいとたずねてくる人毎に話しています。

Bさんは、現在76歳。18歳のとき「慰安婦」にさせられました。Bさんは、1975年に失明しましたが、娘や息子と暮らすまでも、洗濯や食器を洗うなど、家のなかの仕事はやっています。音楽を聴くのが楽しみで、「償い金」で家のどこにいても音楽が聞こえるようにしました。

### 総理の手紙に涙

総理大臣のお詫びの手紙などをお届けしたとき、Rさんには夫が付き添ってきました。Rさんは黙ってうつむいて涙を流し、夫はそのときの気持ちを即興で歌にして歌いました。どのような意味の歌詞ですかと尋ねると、「日本のみなさんがわたしの妻にしてくださった親切を忘れません。これからわたしが祈りを捧げるときには、かならず日本のみなさんの幸せをもお祈りしています」という意味だと説明してくれました。Sさんは自分の部屋にもどるとすぐ、もう一度総理のお詫びの手紙を取り出してゆっくり読み返しました。そして、同じ被害者で長年の友人に向かって、「もういいでしょう。"ゆるしてくれ"とここに書いてある」と微笑みました。Lさんは原文兵衛アジア女性基金理事長(当時)に会い、はにかみながら、しかししっかりと感謝の気持ちを表しました。帰り道、「本当は天皇陛下に謝ってもらいたかったけれど、日本で三番目に偉い人(注:故原理事長・元参議院議長を指している)に会って謝ってもらったから、これで気がすみました」と言いました。

Kさんは、初めのうち日本人の方を見ませんでした。すすめられる食事にもいっさい手をつけず、顔をこわばらせて座っていました。総理のお詫びの手紙が読み上げられると突然、「わたしは結婚して子どもも欲しかったのに」と叫び、しぶるような声で泣き出しました。駆け寄った基金の理事がKさんの肩を抱き、二人で泣きに泣いたあとは、これが同じ人かと思うくらい穏やかになり、一緒に世間話をしたり笑ったりしました。総理のお詫びの手紙の最後にある署名を、「は、し、も、と…」とつぶやきながら一文字ずつ指でなぞり、「この人にね、わたしが有難うございますと言っていたと、日本に帰ったら伝えてくださいね」と言葉を添えました。

### 事業の受け取りと裁判は矛盾しない

アジア女性基金の事業を最初に受け入れた、フィリピンのロサ・ヘンソンさん(故人)は、「有馬副理事長(当時)からアジア女性基金事業の説明を聞いたとき、心のなかではすぐ賛成していました。ですから、1996年4月には、自分の意思で受け入れを表明しました。でも、多くの仲間や日本の支援者は、『国家補償でないと人間としての尊厳は取り戻せない』と、私を非難しました。いまでも、私をさげすみの目で見る人々はいるし、私が強姦された過去の事実は消えません。しかし私は年老い、病気でもあり、家族は大勢で貧しい暮らしをしています。アジア女性基金を受け入れることと、裁判を続けることは矛盾しませし、妨げになるものではありません。」と、受け入れるまでの心境を語ってくれました。

### オランダからの手紙

オランダでは、日本政府の資金による医療・福祉支援事業を実施しましたが、オランダ事業実施委員会に届いた被害者からのお手紙の一部をご紹介します。「私のためにしてくださったことに感謝します。とても満足していて言葉もできません。そして橋本総理のお詫びにも感謝しています。」「私は橋本総理の手紙にたいへん満足しています。やっと認められました。震えています。私のために努力していただいてありがとうございました。」「金銭的な補償だけではなく、私が15歳の時、耐えなければならなかったすべての苦しみが認められたのです。今もまだずっと開いている、でもそれとともに生きなければならなかつた傷をやわらげてくれました。」とこれらのお手紙がいまの被害者の心境を語っています。

## 償いの気持ちを届けてください

【2001年2月5日～】

アジア女性基金には拠金者からのお心のこもったメッセージが多く寄せられています。基金はこれらのメッセージを大切にし、「慰安婦」とされた方々にお届けしてまいりました。こういった多くの拠金者のお気持ちを国民のみなさまにもお伝えしたく掲載いたしました。メッセージ内容が重複する場合には代表的なものを選ばせていただきました。

- ◆ アジア女性基金のニュースを見て、最初は遠い出来事のように思っていましたが、熱心な活動を知るうちに、さまざまな問題をかかえている女性のために頑張って欲しいと思うようになりました。女性にとってたいへん心強い活動だと思いますので、ずっと続けて欲しいと思います。様々なプロジェクトがよい方向に発展しますようにお祈りいたします。  
(神奈川県川崎市・女性)
- ◆ 元「慰安婦」の方々の気持ちを思うとこころが痛んでなりません。誠に小額ですが、日本人の一人として謝罪と償いの気持ちをお送りしたいと思います。(東京都杉並区・女性)
- ◆ 戦争によってどれだけ多くの女性が傷つけられ、男性からの暴力によって心身ともにめちゃくちゃにされたのかを考えると、ますます「平和」の重要さ、大きさ、二度と戦争をおこしてはいけないという思い、男性の暴力を許してはならないという気持ちを強くしました。(東京都杉並区・女性)
- ◆ 私も少年時代に戦争を経験した者ですが、当時を顧みて気持ちはかりの拠金をさせていただきます。どうぞ元「慰安婦」の方々には楽しい余生を送ってくださいよう、願ってやみません。(千葉県習志野市・男性)
- ◆ 元「慰安婦」の方々の償いのためにお役立てください。(埼玉県浦和市・女性)
- ◆ 2度目です。日本国民から基金を集めているところに意義があることを、理解してもらうように努力してほしいと思っています。  
(京都府長岡京市・男性)
- ◆ 大変遅くなり、申し訳ございませんでした。ようやく就職が決まり、協力させていただけるようになりました。  
(東京都渋谷区・男性)
- ◆ 侵略戦争が、かけがえのない個人の人生に取り返しのつかない悲惨な死や苦しみ、悲しみをもたらすことを私たち日本人は直視しつづけ、後世に語り継がねばならないと考えています。(東京都中野区・男性)
- ◆ わずかですが、一日も早く希望される元「慰安婦」の方々へ届くことを願っております。(東京都杉並区・女性)
- ◆ たいへんな時代を生き抜いてこられた方々のこころのうちを想うと、言葉もできません。些少ですが、私の気持ちを受け取っていただければ幸いです。(千葉県松戸市・男性)
- ◆ 「基金ニュース」をいただきました。反省と償いの事業は大変なことと存じます。私も中国へ従軍2年の者。幸い帰国できて今80歳です。「慰安婦」問題についてはいろいろと考えさせられております。些少ですがお役立てください。  
(埼玉県小川町・男性)
- ◆ 日本人が「慰安婦」の方々にしたことなどはどんな罪よりも一番ひどいことだと思います。何も知らない純粋な少女たちに、一生かかっても消えない精神的苦痛と肉体的苦痛を与え、戦争の犠牲者となり悲惨な目に遭わされた彼女たち。この事実を今生きている我々はもっと「知る」必要があると思います。そして二度と繰り返さないように、しっかり伝え、正しい教育をすることが大切です。そして彼女たちのこころの重荷が少しでも軽くなるよう、生きている間にせめてもの償い、謝罪と謝罪金を渡してください。迅速で息の長い活動を望みます。あと、宣伝をもっと増やし、募金額・期限を延ばしてください。  
(徳島県小松島市・女性)

- ◆アジア女性基金の活動に敬意を表します。繁栄の中に過去を直視しない思想が広がりつつありますが、人々の尊厳、平和、幸せと生きることをお互いが深く考え、過去への道義的責任を果たすことも21世紀が真に人々の世紀としてアジア全体で共生し、協生する使命だと思います。S町役場職員のカンパをわずかですがお送りいたしますので、一助となれば幸せです。  
(広島県S町役場)
- ◆誠に些少ですが、送金させていただきます。私は4級度の障害者で兵役の経験はありませんが、戦時中のことはよく憶えており、こころを痛めている一人です。(大阪府門真市・男性)
- ◆お仕事、ご苦労様です。地方においてこつこつ拡大に努めたいと思います。(静岡県掛川市・男性)
- ◆入院のため振込が遅くなりました。(大阪府枚方市・男性)
- ◆基本的には日本国政府が補償すべき問題だと思いますが、ドイツではユダヤ人のホロコーストの補償を政府と関連の会社・企業が補償してきたと聞いています。また、アメリカでは戦中の日本人の強制収容に対して遅ればせながら補償をしてきました。日本は日本国籍の兵隊だけに恩給を送り、沖縄をはじめ被害を受けた民間人には一切補償していません。わずかですがカンパします。(大阪府大阪市・男性)
- ◆元「慰安婦」の方々へお捧げいたします。どうか私たち日本人を、また、私たちの父祖たちの犯した罪を、どうかお赦しください。みなさまのこころの傷が一日も早く癒え、神様が平安をお与えくださいますよう、心からお祈り申し上げます。  
(埼玉県浦和市・女性)
- ◆この後は、美しい絵を見たり、美しい音楽を聴き、少しでもこころ安らかに余生を送られますよう、こころから祈ります!  
(岡山県和気町・女性)
- ◆この3日、妻が70歳で生涯を閉じました。供養と思って寄付します。全世界の女性に平安とやすらぎを願います。  
(福岡県福岡市・男性)
- ◆少額ですが募金させていただきます。「償い金」の一人あたりの額はその人の人生を踏みにじったにしてはわずかのようですが、日本人の良心を証するために、最後まで頑張ってください。(宮城県仙台市・男性)
- ◆公民館の窓口に募金箱を設置して集めました。少額ですが、お役に立てればと思って送ります。(福島県T町・公民館)
- ◆お金で償いができるとは思いませんが、少しでもお役に立つ一部にしていただければ。(神奈川県川崎市・女性)
- ◆ソウルにいる息子に頼まれ、振り込みました。(岡山県岡山市・女性)
- ◆先月は都合が悪く送金できませんでした。計画の2ヶ月分ですので、ご笑納ください。(愛媛県丹原町・男性)
- ◆償いの事業に参加いたします。(茨城県取手市・男性)
- ◆このたび「男と女人権」というテーマでDV、児童虐待について4回連続のセミナーを初めて開催しました。その際、入り口に募金箱を設置しました。(茨城県北茨城市・女性連盟)
- ◆日本人の責任として償いをせねばと思います。貧者の一灯です。ご活用ください。(千葉県佐原市・男性)
- ◆少しでも気持ちが安らぐことを願います。(愛知県豊橋市・女性)

- ◆困難と思われた事業がみなさまの誠意ある活動で認められてきていることを嬉しく思います。(栃木県宇都宮市・女性)
- ◆少額ですが、少しでも日本の犯した罪の償いになればと思い…(新潟県新井市・男性)
- ◆やはり公平な調査と国家による正式な謝罪賠償を望みます。そして、きれいになって出直したい。(熊本県熊本市・男性)
- ◆わずかではありますが、文化祭での募金をお送りいたします。(茨城県・高校ボランティア部)
- ◆少額でこころ苦しいのですが、お役立て下さい。当初より目的が見えにくくなっているような気がするのですが。(栃木県黒羽町・女性)
- ◆9月6日、メルパルク熊本での公開セミナーに参加させていただきました。そして、アジア女性基金のことを知ることができました。「慰安婦」のことは地域でも時々話に出ることがあり、重い気持ちになっていました。少しばかりですが、送金させていただきます。(熊本県甲佐町・女性)
- ◆新聞にて9月18日の官房長官への要請を拝見しました。応援しています。事務局長をはじめ、事務局スタッフの方々の一層のご活躍をお祈りします。(東京都西東京市・男性)
- ◆経団連理事会での理事長のお話をうかがい、寄付いたします。関係者の方々のご苦労に謝意を表します。(東京都練馬区・男性)
- ◆今の日本の状況と10月の女性法廷の判決を思い、思い切ってはじめて9月7日に行われた基金主催のフォーラムに出席しました。過去の戦争はたぶんに国民の未熟さによると思いますので、国民基金という構想を支持してきましたし、冷戦が封印してきた他の問題(捕虜など)にも、この形が拡がればと願って出席したのですが、アジア諸国の厳しい目に加え、国内の批判の激しさは衝撃的でした。横田先生、和田先生をはじめ、関係の方々のご苦労を思い、こころより感謝いたします。韓国の「慰安婦」の側に立って斗っていらっしゃる方たちの活動は尊いと思いますが、私たちの赦しを願い理解を求める立場を汲んで、仲介者となっていましただけないかと思いました。(東京都東久留米市・女性)
- ◆「にっぽんNOW」(平成13年12月17日1487号)により拝見しました。小額ですが送金しますので、ご貢納ください。(東京都青梅市・男性)
- ◆現在まだ失業中につき少しづか募金できませんが、役立ててください。(千葉県船橋市・男性)
- ◆我々が過去の過ちを記憶に留めると共に、女性としての共通の悩みを分かち合うために。(東京都大田区・女性)
- ◆ご活躍を祈念します。大切な仕事です。全国民的な運動が望まれます。(埼玉県寄居町・女性)
- ◆拠金させていただきます。事業が終了した国もあるようですが、事態が変わることもあると思いますので、できるだけ長く援助が続けられればよいと思います。(宮城県仙台市若林区・男性)
- ◆理事長はじめ理事のみなさま。ご苦労さまの事と存じますが、なにとぞ、私どもの心を各国の女性のみなさまにお伝えくださいませ。(東京都目黒区・女性)
- ◆特に韓国の方々に「償い金」としてお役に立てれば幸甚です。受け取っていただけないようなら、他にお役立ててくださいって結構です。受け取っていただけるよう願っています。(埼玉県さいたま市・男性)
- ◆過去の戦争のために辛い思いをされたすべての女性に哀悼の意を表して…。微力ながら何かお手伝いできますようにと願います。(埼玉県川越市・女性)

◆78歳もくせんの老いの身ですが、頭の隅で戦後「償い」の未解決が気になり、なかなか安心往生できません。わずかですが大河の一滴にでもなればと念じています。(福井県福井市・女性)

◆元「慰安婦」の方々への「償い金」として、お捧げいたします。元「慰安婦」の方々の上に神様の慰めがゆたかに注がれますようお祈りいたします。(埼玉県さいたま市・女性)

◆心の傷はお金では代えられないものですが、少しでもこのお金が役立てたらと思います。一緒にがんばりましょう。  
(埼玉県大利根町・女性)

◆中学3年生です。学校の総合学習で従軍慰安婦について勉強しています。戦争の被害にあわれた方々に学べば学ぶほど、かわいそうな気持ちで涙が出てきます。少しですが、お小遣いから募金します。(千葉県干潟町・中学生)

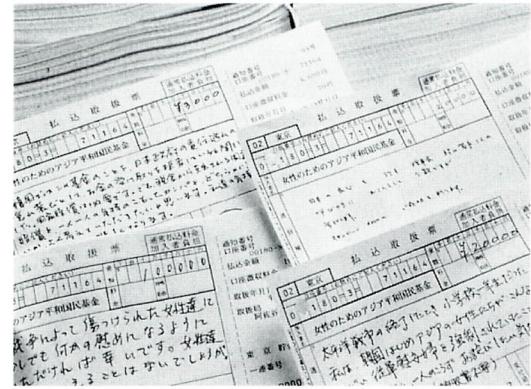
◆世界の女性が幸せになれますよう祈ります。(兵庫県尼崎市・女性)

◆「慰安婦」とされた方のために。「償い金」のために。(東京都豊島区・男性)

◆受給申請締め切りと伺いました。長い間ご苦労様でした。でも、5~20万人の「被害者」がいるというのに300人の受給とは…。申請をしなかった人に応える施策が必要です。その人たちへの政府の姿勢も問われています(靖国など)。村山さんの首相時代を含めての戦後の処理のご努力に敬意を表します。年金生活者の貧しい一灯ですが…。新聞広告を拝見して。  
(埼玉県・男性)

◆小額ですが、寄付金です。「償い金」を打ち切るそうですが、窓口は閉じてはいけないと思います。国民の平和を願う心とともにあって欲しいと願います。(熊本県熊本市・男性)

◆私たちの高校は、毎年7月に学園祭が行われます。アジア女性基金のホームページを見て、元「慰安婦」の方々に私たちの集めた募金を使っていただければ何よりの喜び、そして償いができるのではないかと思いました。教室の中に箱を設置して、学園祭に来てくださる方たちや学生から募金をしてもらおうと思っています。今年は日韓交流の年です。私たちが生きている以上、未来の責任、そして現在の責任がたくさんあります。展示会を行うだけではなく、そこから一步先へ進んで、「募金」という形で行動を起こしてみようと、私たちは考えたのでした。どうでしょう。(北海道旭川市・高校生)



2002年度  
女性尊厳事業

アジア女性基金では、  
「女性に対する暴力」のない社会をめざし事業を推進してきました。  
本年度は主として次のような事業の実施を計画しています。

## [小冊子]

全国の自治体、女性センター、婦人相談所、福祉事務所、児童相談所、教育委員会、警察、NGOなどに配布し、広く啓発するための事業です。

- 女性に対する暴力 Q&A
- 「慰安婦」問題 Q&A

- 難民支援とジェンダーの視点 Q&A
- 性の尊厳に関する Q&A

## [公開セミナー]

女性に対する暴力の防止に関し、国民の理解を深めるための公開セミナーを開きます。

★参加無料: 参加ご希望の方はアジア女性基金まで。

## (予定)

日 時	10月17日(木) 13:30～17:00	11月11日(月) 13:30～16:30	11月26日(火) 13:00～16:00	12月6日(金) 13:00～16:00
共 催	北海道北見市児童相談所	愛媛県新居浜市男女共同参画課	日立市らぼーる協会	和歌山市・和歌山市女性会議連絡会
会 場	北見市民会館小ホール	新居浜市女性総合センター ウイメンズプラザ	日立市女性センター・多目的ホール	和歌山市男女共生推進センター・ホール
演 題	「虐待・暴力の及ぼす影響 ～女性と子どもの 心のケアに携わって～」	「ドメスティック・バイオレンス ～女性と子どもへの影響～」	「家庭内でなぜ暴力が起きるのか ～ドメスティック・バイオレンスと 子ども虐待の心理～」	「家庭内でなぜ暴力が起きるのか ～ドメスティック・バイオレンスと 子ども虐待の心理～」

■アジア女性基金フォーラム「日本と韓国—過去の記憶と未来への対話」11月16日(土)13:00～16:30 上智大学6号館310

## [調査・研究]

「慰安婦」問題から現代の女性問題まで、女性の人権に関わる問題の実情調査や研究会を実施し、幅広く情報提供を行います。

- 外国人女性からの相談内容に関する調査
- 都市部におけるDVの実態調査
- DV加害者への対応とその予防
- 「紛争下における女性の人権」研究会の開催など。

## [国際会議と公開フォーラム]

暴力や人権侵害など、特にアジア・太平洋地域等において女性が直面している様々な被害の実態について意見交換をし、国際的な連携のもと、その回復・予防をはかります。

- 「紛争と女性」(2002年12月1日～3日、東京)
- 「女性と司法」(2003年1月12日～14日、ペナン)

## [援助者育成のための研修会]

国内外の専門家による援助者対象のスキルアップ研修と、自治体との共催による基礎的な研修を開催し、被害者にとって、よりよい相談ができる環境づくりをめざします。

★参加無料: 参加ご希望の方はアジア女性基金まで。

- 「DV早期発見」のための医療スタッフ研修
- グループワークのファシリテーター育成研修
- 相談援助技術をたかめるための基礎研修